

## 第5回

# 私の思い出の歌 コンテスト

### 結果発表!

応募総数  
約150通!

童謡、唱歌、民謡、歌謡曲、洋楽などさまざまなジャンルの歌の応募がありました。皆さま、ご応募ありがとうございました。

母の思い出の歌賞 … 2名  
人生を変えた歌賞 … 2名  
楽しかった思い出の歌賞 … 2名  
前を向かせてくれた歌賞 … 3名  
青春の思い出の歌賞 … 4名

※ご応募内容を一部要約しています。

## 母の思い出の歌賞

### 🎵 揚げば尊し (文部省唱歌)

🎵 揚げば尊し わが師の恩～

私は2歳のときに小児まひになりました。当時は車イスもなく、母がおんぶをして6年間送迎してくれて無事に小学校を卒業。トイレにも行けないため、送迎のほかに2回、トイレの介助に来てくれていました。夏の暑い日、雨の日、風の日、冬の雪の日も「勉強が分からなくなるといけない」と頑張ってくれた母。

卒業式で生徒たちが証書もらった後、誰も知らない母の名前が呼ばれ、「長い間、お疲れ様でした」との言葉を添えた卒業証書を授与されました。拍手が鳴りやまない中、母は恥ずかしさを隠して受け取りました。全員で最後に歌った『揚げば尊し』。母の苦労が花開いた歌。温かくほろ苦い、心に残る歌です。



介護老人保健施設やすらぎ 秋月 はるみ 様 (75歳)

### 🎵 ここに幸あり (大津美子)

🎵 嵐も吹けば 雨も降る～

私が小さい頃に母がよく聴いていた歌です。田舎に住んでいましたが、父の仕事が田舎では見つからないため家族で町へ移りました。学歴のない母は辞書を買って、字を覚え、計算も勉強し、酒飲みの父の苦勞に耐えながら、私たち姉妹を一生懸命育ててくれました。

この歌のとおり、女の道は険しい道で、今思うと子どもたちを頼りに生きて、「いつかは幸あり」と思って頑張ってくれたのでしょうか。母のその気持ちが分かる年になり、この歌を聴くとやさしい母を思い出します。

デイやまもと 金子 恵利子 様 (67歳)

## 人生を変えた歌賞

### 星のフラメンコ (西郷輝彦)

#### ♪好きなんだけど～

私は人前で歌うのが大の苦手でした。あるとき、忘年会のカラオケで盛り上がっているところへ『星のフラメンコ』のイントロが流れ始めました。ところが、リクエストした人が現れません。「誰か、この歌知ってる人歌って～」と絶叫する幹事の声…。そのとき、私の体が勝手に動き出し、マイクをつかむと手拍子にフラメンコのステップまで踏んで、最後まで歌い切ったのです。

日頃の私と180度異なる変身ぶりに驚いた表情の同僚たちから、大きな拍手が湧き起かたぶつりました。この日を境に「まじめで堅物」という印象から「意外と面白い人」に変わり、宴会では「フラメンコのカメちゃん」の愛称で呼ばれて、この歌を歌うのがお約束となりました。

私の残りの人生をより楽しく豊かにしてくれた『星のフラメンコ』は、私にとってかけがえのない宝物のような歌です。

通所リハビリテーションじんけい ペンネーム カメちゃん 様 (83歳)



### 恋人も濡れる街角 (中村雅俊)

#### ♪不思議な恋は～

「一生結婚しない」と言い続けていた私。ある日、友達の結婚式に出たとき、最後に流れたのがこの歌でした。中村雅俊さん(俳優・歌手)のことは全然好きじゃなかったのに、なぜかグサッと心に響きました。

その2ヶ月後、私は結婚を決意し、その1ヶ月後に結婚しました。



デイサービス福助  
ペンネーム カヨベエ 様 (76歳)

## 楽しかった思い出の歌賞

### 影を慕したいて (藤山一郎)

#### ♪まぼろしの～

この歌は昭和7年の曲で、物心ついた頃から口ずさんでいました。母はお琴の師範をしており、生まれたときから音楽に囲まれ、音楽が大好きで中学2年生から合唱団に所属し、数々の歌と出会ってきました。

その中でも『影を慕したいて』は古賀政男先生の作曲で、そのメロディーは幼心にも胸を打つものがありました。この歌でカラオケ大会に参加したこともあります。私にとって「一生の宝物」です。

ベネッセデイサービスセンター西多賀  
渡邊 豊一 様 (89歳)

### なみだ船 (北島三郎)

#### ♪涙の終わりの～

演歌歌手・北島三郎さんのデビュー曲です。中学校に入学した頃、スーパーでよく流れていました。今みたいにCDはなく、レコードでした。カラオケでよく歌いました。

今は北島三郎さんの曲を聴きながら、リハビリを兼ねてサイクルエルゴメーターを70分間こいでいます。何度聞いてもいい歌ばかりです。



介護老人保健施設しびのさと  
M・K 様 (72歳)